




SDGs宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2023 年 3 月 22 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
私達は地域に関わる課題解決に取り組み、地域のリソースを活用し私達もっている企業のリソースを組み合わせることにより新たな価値(形)を見出し、地域の新たな発展へと繋げられるよう貢献することです。			
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動			
地域との連携・協働して特に子供達への海に関わる啓蒙活動や海洋問題などの解決を目指し、継続して活動の範囲を広げられるような取組みを目指します。同時に社員の健康状態も促進していく。			
目標に関連する取組内容			
ゴール	2022年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2023年12月31日までの取組目標
	全社員で毎日スクワットをおこない、運動不足の改善と健康促進させる。介護カウンセラーと産業カウンセラーに相談ができるような環境を整える。	スクワット 最初は7回から始めたスクワットが今では朝礼・夕礼で各20回実施できている。 カウンセリングについても悩みがあれば専用ダイヤルですぐに相談ができる環境が整った。社員も複数名利用実績あり。	全社員が引き続き毎日スクワットをおこない健康診断で ・メタボリックシンドロームの該当者を 14人⇒10人に減らす ・生活習慣病 該当者を 8人⇒6人に減らす
	清水港で水揚げされる冷凍マグロの限られた資源を有効活用し廃棄部位を減少させ、同時に食品ロスにも取り組む	・尾の身を使用したカレーの商品開発 ・尾の身を使用したオイルツナを開発中 ・胃袋を使用したチャンジャの商品開発	2022で開発した商品を商品化させ、副産物に付加価値を付けて販売することによりマグロ・清水港の魅力を伝えられる商品にする。1つの商品で500gの端材を使用として、1,000個販売で500kgの端材を有効活用させる。
	未来を担う子ども達を、地域のみんで育てていく。その一つで絵本の配布（フジ物産オリジナルのマグロが主役の物語の絵本）	清水区内の園児に対して、弊社オリジナル絵本「つなぐくん」第2弾を清水区の13/63園を中心に配布し現在786冊届けることができた。	清水区の全ての園に絵本を配布して、清水の一つのシンボルでもあるマグロを広めシビックプライドにも繋げた。63園/1,600冊(人)を目指す。

(記載上の注意)

- 1 取組目標は**3つ以上のゴールについて目標を設定し、記載**してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

1	事業所・団体等又は関連事業者等の名称	フジ物産株式会社	
		本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数	11 事業所
2	業 種	7. 卸売・小売業	
3	従業員（構成員）数	140 人	
4	代表者 職・氏名	職 名	代表取締役社長
		氏 名	山崎 伊佐子
5	所 在 地	〒 424-0847	
		静岡市大坪2丁目5-32	
6	ホームページURL	https://www.fuji-bussan.com/	